

授業科目 小児看護学演習

【担当教員名】 松井 由美子 他		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要】 子どもとその家族の日常生活援助や治療・検査・処置に伴う援助を実施するために必要な知識・技術・態度を修得する。子どもの成長発達上の特性をふまえて、具体的な実践方法を学んでいく。演習においては、子どもの権利を尊重した接し方についても学習する。					
【行動目標：SB0】 1. 子どもとその家族の援助の方法について特徴と留意点をのべられる。 2. 子どもにとっての環境の重要性を認識できる。 3. 子どものフィジカルアセスメントの方法について述べられる。 4. 子どものフィジカルアセスメントをモデル人形を使った演習で正確に実施できる。 5. 子どもの診療や日常生活の援助技術の方法を述べられる。 6. 子どもの診療や日常生活の援助技術をモデル人形を使った演習で安全に実施できる。 7. 子どもの応急処置と救急蘇生法を説明できる。 8. 子どもの応急処置と救急蘇生法を演習で体験できる。 9. 子どもの権利や尊厳を守る意義を理解し、意識付けることができる。					
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	授業ガイダンス			講義	
2	子どもの援助関係形成と環境調整		1、2	講義	
3	子どものフィジカルアセスメント（発達診断法・身体計測）		3、4	講義・演習	
4	子どものフィジカルアセスメント（バイタルサイン測定法）		3、4	講義・演習	
5	日常生活の援助技術（食事・排泄・清潔・衣生活）		5、6	講義・演習	
6	演習準備のためのグループワーク		1～6、9	グループワーク	
7	診療に伴う援助技術（与薬・検査・処置）		5、6	講義・演習	
8	演習準備のためのグループワーク・発表		1～6、9	グループワーク・発表	
9	第1回演習「身体計測・バイタルサイン測定」		1～4、9	演習・ビデオ鑑賞（小児教員全員）	
10	第1回演習「身体計測・バイタルサイン測定」		1～4、9	演習・ビデオ鑑賞（小児教員全員）	
11	第2回演習「診察介助法・全身清拭」		1、2、5、6、9	演習・ビデオ鑑賞（小児教員全員）	
12	第2回演習「診察介助法・全身清拭」		1、2、5、6、9	演習・ビデオ鑑賞（小児教員全員）	
13	第3回演習「小児の応急処置と救急蘇生法」		7～9	演習（外来講師・小児教員全員）	
14	第3回演習「小児の応急処置と救急蘇生法」		7～9	演習・講義	
15	まとめ・レポート作成		1～9		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ナーシンググラフィカ29 小児看護技術	中野綾美編	メディカ出版	2007・3,360円
参考書		子どものフィジカルアセスメント 写真でわかる小児看護技術	小野田千枝子 山元恵子監修	金原出版 インターメディカ	2001・4,200円 2006・2,625円
その他の資料					
【評価方法】 演習（40%） グループ発表（20%） レポート（20%） 出席・態度（20%）		【履修上の留意点】 小児看護学実習に必要な技術演習ですから欠席せず、積極的にグループワークや演習に参加し、実習までの課題を明確にしておきましょう。			